



ゆうこう と し がく よう た よ り 友好城市岳陽情報

沼津・岳陽友好都市提携 30 周年!! を記念して、沼津市の友好都市である中国湖南省岳陽市の様子を中心に、中国や岳陽についての新旧織り交ぜた情報を紹介するコーナーです。

岳陽市外国語学校の日本語教師、周 泓君(しゅう けんくん、平成 24 年度岳陽市教育研修生)です。今回は 8 月に結婚したばかりの私が、中国・岳陽の結婚事情をレポートします!



毎年 10 月は中国の結婚式シーズンです。気候が良く、また、国慶節で連休になる人が多いので、結婚式を挙げやすいからかもしれませんね。同じ様に連休があり季節も良い 5 月も多い傾向があるようです。

今回ご紹介する内容は、岳陽出身の私が見聞きした内容なので必ずしも広い中国の一般的な内容ではないかもしれませんが、少しでも面白い!と感じて下さる内容があれば、嬉しいです!

～ 中国の結婚式は 赤 が基本! ～

日本で結婚式に新婦が着る衣装といえば、白無垢かウェディングドレスですよね。ただ、中国では白はお葬式の色で、赤こそが結婚式などのお祝いの色です。ですから、日本の“紅白幕”って、中国人にとってはなんだか不思議な感じがするんですよ。

そんな理由もあり中国では長い間欧米式の白のウェディングドレスは敬遠されてきましたが、最近では若い人を中心に白のウェディングドレスを着る人も増えてきました。そして、お色直しのように伝統的な赤の衣装も着るといった方法が、多く支持されているようです。

中国でいう結婚式とは、日本の披露宴の様なもの。結婚式場やレストランなどで行います。式の始めに人前式のような、伝統的な儀式をして、そのあと食事が振る舞われます。

結婚式には、親戚、上司や同僚、友人が参加します。最近ではメールでの招待状も一般的。着席の場所が決まっている日本とは違い、受付がない中国の結婚式は、参加する人の服装もとってもカジュアル。中にはジーンズに T シャツで参加してくる人もいるくらいなんです。ただし、全身真っ白はダメですよ!お葬式の格好ですからね。

～ いよいよ結婚式! ある新婦(もちろん私です!)の 一日 ～

結婚式の流れは、地域と民族によっていろいろあります。日本でも、名古屋は派手婚だとか、会費制の結婚式とか、地域差があるようなものですね。

【6時半】 いよいよ結婚式当日です。身支度をして、自宅でメイクさんが来るのを待ちます。

【7時】 メイクを始めます。ブライズメイドも家に来て、いろいろクイズなどを準備します。一番大切な準備は、私の靴を新郎が見つけれない所に隠すことです。

ブライズメイドは結婚式のお手伝いをしてくれる友人の



ことで、中国語では“伴娘”^{パニヤン}と言います。私の右に写っているのは、私の大学時代からの友人でもあるH26年度岳陽市教育研修生として沼津市にも訪問した張攀さんです。

【8時】 新婦の家に親戚が集まって、新郎が来るのを待ちます。

【9時】 新郎が車を八台連ねて、私の家に迎えに来ます。岳陽では、新婦を迎える車は一般的に六台や八台という複数が好まれます。これは、幸福を象徴するため、車の色は赤か黒です。



いよいよ、新郎が新婦の家に到着します。ただし、新郎が新婦の家に入るためには、ドアを阻む新婦の友人たちに、“紅包”^{ホンパオ}（お小遣いの入った赤いぼち袋）や飴を配ったり、結婚後も変わらず新婦を愛することを誓った“愛の保証書”を読んだりしなければなりません。さらに、新婦の部屋の前で歌を歌ったり踊りを踊ったりした後、ようやく許可をもらい、部屋に入ることができるんです。

でも、そう簡単には、新婦を連れ出すことはできません。新郎は必ず、ブライズメイドが朝事前に隠した新婦の靴を見付けなければなりません。無事に探し出せたら、新婦に靴を履かせます。これは、これから二人で一緒に歩いて行く、という意味です。靴ももちろん赤色です。

それから、新婦の両親と一部の親戚が新郎新婦と一緒に新郎の乗ってきた車に乗って、新郎の家に行きます。出発する時は爆竹を鳴らすのが習慣です。新郎の家に着くと、新郎新婦は餃子と甘い団子を食べます。これは、家庭生活が“圓滿”^{ユワンマン}（円満）に行きますようにという意味が込められています。

これは新居の寝室です。新婚夫婦の部屋は必ず赤色で装飾されます。それから、ベッドの上に、ナツメ、ピーナッツ、リュウガンを置きます。これは、中国語で“早”^ゾ（枣=なつめ）“生”^{シェン}（花生=ピーナッツ）“貴”^{グイ}（桂=リュウガン）“子”^ズ、つまり、はやく子供がうまれるようにという意味が込められています。



【10時半頃】 結婚会場に向かいます。本来であれば派手に爆竹を鳴らして出発するのですが、近年、市内で派手に爆竹を鳴らすことは禁止されています。



式場に到着したら、新夫婦は式場の前に立って、同僚や友人を迎えます。この時ゲストからの“紅包”^{ホンパオ}（ご祝儀）をいただきます。

【12時】 結婚式開始です。ステージの前から順に、家族や親戚、上司や同僚、そして友人が着席した円テーブルが並びます。日本では家族や親戚が末席に座るようですが、中国では両親は最前列に座ります。

司会者の進行で、指輪交換やケーキカット、スピーチなどを行います。

相手の両親にお茶を献上する“敬茶”と、新郎新婦の“交杯酒”は欠かせないのでできない伝統儀式です。

最後はブーケスをとります。ブーケを取った人にはいい縁が結ばれるということで、独身の友人たちは我先に？とブーケに手を伸ばします。

一通りの儀式が終わると、食事が運ばれて宴会開始！それから、赤の服にお色直しして、各テーブルを周り挨拶します。

【1時頃】 食事を終えたゲストや親戚たちは帰宅します。これで、結婚式は終わりです。

披露宴が終わった夜に友人が新郎新婦の家に押しかけて来てからかたりするなんていう習慣もあり、結婚式当日は朝から晩まで新郎新婦は大忙しです。



～ 中国の“結婚”あれこれ質問！ ～

質問！	回答！
結婚可能年齢は？	男性は22歳以上、女性は20歳以上です。
結婚後の苗字は？	中国は夫婦別姓なので結婚後も夫婦共に姓はかわりません。子供は父親の姓を名乗るのが一般的ですが、母親の姓を名乗っても問題ありません。
指輪はどんなの？	個人的な違いが多いかもしれませんが、最近では婚約指輪は給料2～6ヶ月分くらいが主流の様です。結構な出費ですよ～。もちろん買わない人もいますが、伝統的に金（中国では24金）や最近ではプラチナのものが人気です。
夫婦の家事分担は？	地域によって特徴があるようですが、女性の社会進出が進んでいる中国では、掃除から料理まで、どんな家事でもこなせる男性が多いです。

次回は、12月掲載予定！

沼津市・岳陽市友好都市提携30周年を記念して岳陽市を訪問した沼津市岳陽訪問団の中国・岳陽滞在の様子をレポートします。皆さん楽しみに！！